

容器包装削減活動とリサイクルによるCO₂削減効果（環境省「3R行動見える化ツール」プロジェクトによる）

ユニーでは循環型社会構築のための活動として、お客様と一緒に「容器包装の3R」を行っています。使用済みの容器包装をリサイクルボックスで回収する、レジ袋を購入すれば繰り返し使う、マイバッグやマイバスケット持参でレジ袋を使用しない、といったことが容器包装の3R活動です。これらの活動は資源循環だけでなく、CO₂の発生抑制に貢献し地球温暖化防止につながる事が環境省のプロジェクトに参加し数値化することで確認できました。



リサイクルボックス

●レジ袋を辞退すると、1枚につき30.8gのCO₂が削減できます。

ユニーが2006年に使用したレジ袋 …… 3億3,363万枚

ユニーが2014年に使用したレジ袋 …… 6,845万枚

差引 2億6,518万枚削減（CO₂は2006年度対比8,250tの削減）

2014年度リサイクル回収によるCO₂削減量

	回収実績 (kg)	CO ₂ 削減量 (kg)
アルミ缶	605,198	5,204,706
牛乳パック	542,743	271,372
食品トレイ	280,492	1,767,103
ペットボトル	2,126,669	7,656,009
合 計	3,555,103	14,899,189

●リサイクルボックスで回収すると
アルミ缶1kgで8.6kgのCO₂削減
牛乳パック1kgで0.5kgのCO₂削減
食品トレイ1kgで6.3kgのCO₂削減
ペットボトル1kgで3.6kgのCO₂削減

低炭素社会を目指すエコストア

エコマーク小売店舗認定第1号のアピタ千代田橋店

名古屋市のアピタ千代田橋店は、日本環境協会が新たに認定基準を制定したエコマーク小売店舗第1号として2012年1月27日に認定されました。その後2013年、2014年とエコマーク認定期間が継続されました。ユニーは持続可能な社会を目指し、店舗で具体的に実践しています。その活動と成果がエコマーク小売店舗の認定基準に達していると認定されたのです。特に評価された項目は、次のとおりです。



お店探検隊で推進するエコストア



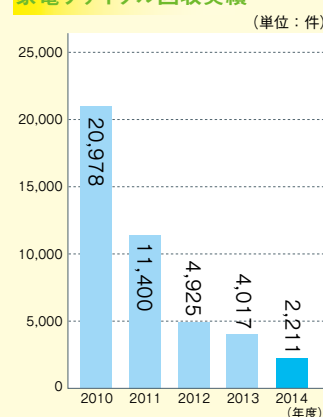
日本環境協会がアピタ千代田橋店の環境展に出展

- 食品リサイクルループを実践し生産した野菜などを販売、さらにその工程を消費者に見学や農業体験を通して伝えていること。
- 容器包装廃棄物削減とリサイクル推進の取り組み。
- 消費者交流などによる環境啓発活動の実施。

家電リサイクル

家電リサイクル法に定められた冷蔵庫・洗濯機・エアコン・テレビの4品目をお客様の家庭から回収しています。しかし、家電製品を取り扱う店舗が年々縮小しているため、回収量は減少しています。

家電リサイクル回収実績



電気自動車の充電スタンドを設置

ユニーの大型店舗のアピタ店舗やモール店舗では、お客様の多くは自動車来店されます。ガソリンの自動車は、CO₂やその他の排気ガスを排出します。そこで、環境にやさしい来店方法として電気自動車を使っていただくために、充電スタンドの設置を推進しています。お客様のお買い物中に充電していただくことができ、遠方からも安心して来ていただけます。2015年7月時点で、充電スタンド設置店舗は45店舗、普通充電器56台、急速充電器4台です。



電気自動車充電スタンド



電気自動車充電スタンド設置店舗

